

PatentNoiseFilter[®]

特許分類サービス

① 学習

分類対象のサンプル
(関連特許のみでもOK)



② 分類



独自の特許用語辞書を用いることにより特許データを自動的に“精度高く”分類

人工知能技術を活用し、ユーザが指定した特許の特徴を学習し、精度の高い分類を実現します。

(利用例)

- SDI
- 大規模な技術動向調査
- 人手による分類のエラーチェック

分類器の精度の例(ビッグデータ関連)

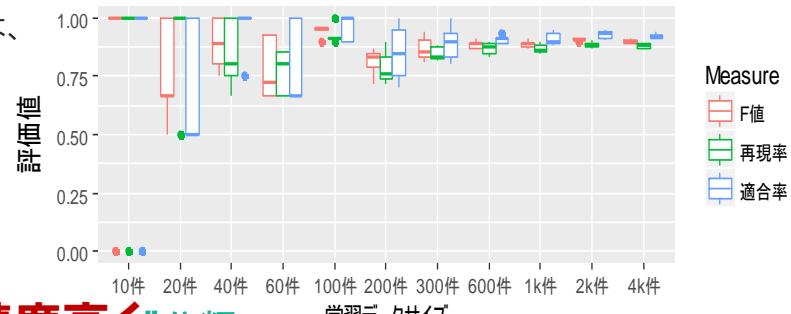
分野	学習データ数 (正例数)	適合率	再現率	F値
機械学習	631	0.958	0.939	0.948
時系列解析	294	0.947	0.941	0.944
可視化	446	0.902	0.939	0.920
データベース	80	0.893	0.893	0.893
ストリーム統計	75	0.871	0.893	0.882
ストリーム機械学習	63	0.890	0.914	0.902
匿名化	50	0.897	0.928	0.912

分類器を評価

分類器が本当に使えるかを評価します。具体的には、

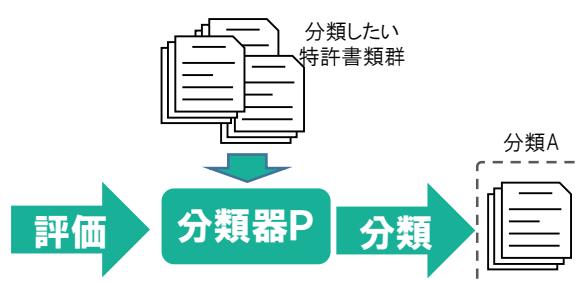
- 1) 分類器の学習データは十分か？
- 2) 分類器の推定精度は？
- 3) 新しいデータに対して分類器はまだ使える？

といった問題に対して定量的な評価を行います。



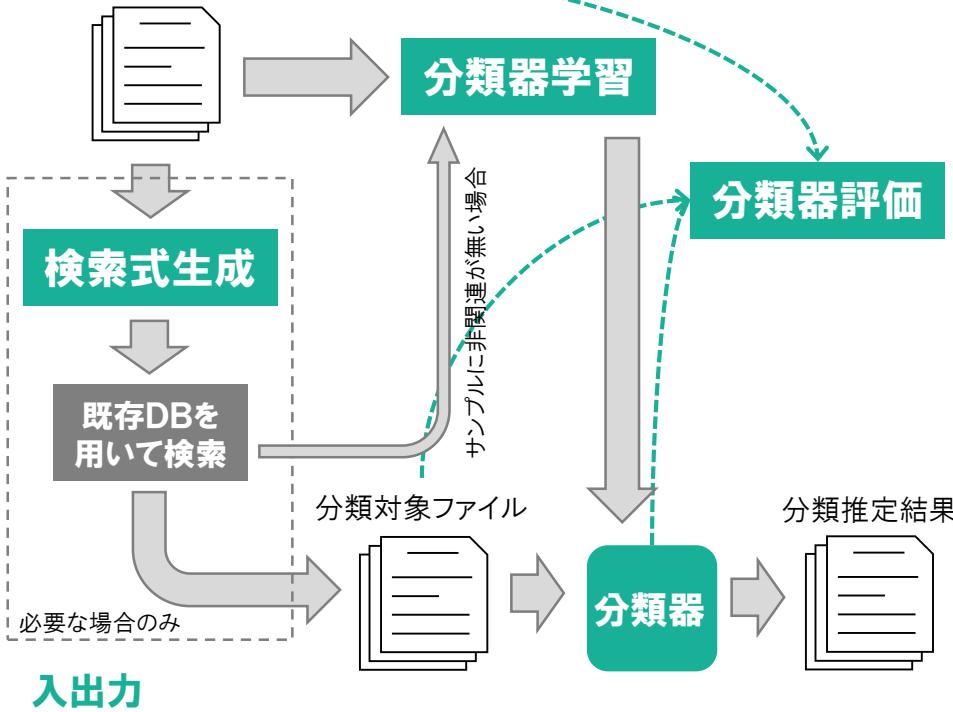
最適アルゴリズム自動選択機能により“精度高く”分類

2つのアルゴリズムを用いて、2つの分類器を構成し、評価し、最適な学習器を選択します。評価の高い分類器を用いて特許データを分類します。



サービス概要

分類対象のサンプル
(関連特許のみでもOK)



PatentNoiseFileter®(以下、PNF)では、はじめに、ユーザがあらかじめ人手で分類したサンプルを準備します。そのサンプルをPNFに与えることでPNFは、サンプルの特徴を自動的に学習します。その後、未分類のファイル(分類対象ファイル)を学習した結果に与えることでサンプルと似た特徴を持つ特許を自動的に抽出します。

さらに、本ツールでは、学習に用いたサンプル、分類対象ファイル、学習した分類器を利用して、「分類器を分類対象ファイルに適用しても大丈夫か」を評価します。

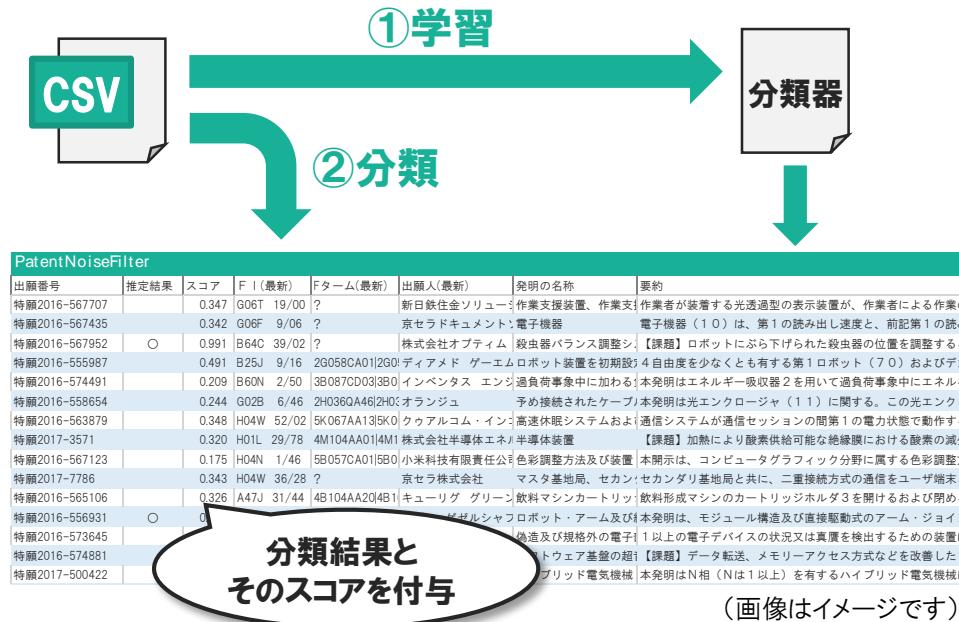
また、本ツールは、分類対象のサンプルに非関連(ノイズ)が存在しない場合であっても、サンプルから自動的に検索式を生成することで分類器の学習を可能にしています。

入出力

PatentNoiseFilter®は、1行1特許形式のCSV形式のファイルにより、学習と分類の両方の処理を行います。

分類器を学習(作成)する際のCSVファイルには、「人間が分類した結果」と「分類に用いるデータ(特許分類コードや要約などのテキスト情報)」を入力しておきます。

そして、PatentNoiseFileter®による分類を行うファイルには、上記CSVと同じ「分類に用いるデータ」が存在するデータを入力することで、推定結果とそのスコア(もつともらしさ)を出力します。



動作環境

OS	Linux
ウェブブラウザ	Internet Explorer, Microsoft Edge, Google Chrome(推奨), Safari, (すべて最新版のみ、JavaScript必須) Firefox
スペック	計算機の性能によっては動作が鈍くなることがあります

株式会社アイ・アール・ディー (IRD国際特許事務所)

〒540-0008
大阪市中央区大手前1丁目7番31号 OMMビル8階 私書箱53号
TEL: 06-6944-4530 FAX: 06-6944-4531
URL: <http://ird-pat.com>

お問合せ

株式会社 発明通信社

本社 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-12-2
TEL: 03-5281-5511 FAX: 03-5281-5512

大阪営業所 〒530-0044 大阪府大阪市北区東天満2-10-14
TEL: 06-6353-0324 FAX: 06-6358-7058

名古屋営業所 〒448-0027 愛知県刈谷市相生町2-29-1
TEL: 0566-63-5588 FAX: 0566-63-5589